

# 令和5年度 学校評価

## ～具体的取組ごとの評価指標と目標値による評価～ 評価方法

各重点取組分野ごとに、具体的取組の評価指数が目標を達成している項目により、次のような評価をする。

目標を達成している項目数	評価
90%以上が達成している	A
半数以上が達成している	B
達成したのは半数未満である	C

凡例

【90%以上】 目標値

赤字 目標を達成

 昨年度より良くなった

単位がない データがない  

0.0
-----

 又は未実施

令和5年1月  
横浜市立今宿小学校

## 重点取組分野1 生きてはたらく知(知)

(1)グループで学習し、考えを深めたり、広げたりして、学力を向上する。

			R3年度	R4年度	R5年度	
児童	1	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	90.0	83.3
			横浜市	0.0	73.5	76.5
	2	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	85.0	88.0	88.4
			全国	82.6	77.3	78.8
	3	授業で学んだことを、ほかの学習で生かそうとしていますか。 「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	0.0	89.3
			全国	0.0	0.0	81.9
	4	学習した内容が分かっていますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	0.0	91.6
			全国	0.0	0.0	0.0
職員	5	主体的・対話的に学ぶ姿を育成するために、児童の実態に合わせて「グループワークや思考ツールを活用して授業改善」に取り組んだ。				A
	6	主体的・対話的に学ぶ姿を育成するために、「振り返りを活用」して児童の問題意識の把握や課題設定に努めた。				A
	7	教科の系統性や他教科のつながりを意識し、「学習内容と関連付けて指導(カリマネを実践)」した。				A
	8	一人ひとりの学習の力に合わせて、「工夫して指導」した。				A
※※※	9	お子さんは学習した内容を理解していると思いますか。				92.9
地域	10	子どもたちは楽しく学校生活を送っている様子がうかがえる。 【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】				A
	11	今宿小学校では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組める授業をするように努めていることが分かる。 【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】				A
学校	12	少人数指導を実施する	実施	実施	実施	
	13	授業研究を実施する	実施	実施	実施	

(2)主体的に学ぶ姿勢を育む。

			R3年度	R4年度	R5年度	
児童	14	家庭学習(課題)には、毎日取り組んでいますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	0.0	82.6
			全国	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか		70.7
	15	家庭学習(自主学習)には、取り組んでいますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	0.0	76.1
			全国	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか		70.7
	16	授業以外(学校、家庭など)で読書に取り組んでいますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【70%以上】	今宿小	87.0	84.0	69.6
			全国	学校図書館に行くことが好きですか		71.8
職員	17	学校で学んだことが、家庭での復習や予習、及び、自主的な学習に「つながるように指導」した。				A
※※※	18	お子さんは家庭学習(課題や自主学習)の習慣が身に付いていると思いますか。 【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】				80.9
学校	19	図書室の年間貸し出し冊数【10,000冊以上】	15,732 2022/2/7	11,785 2023/12/23	10,769 2024/2/1	
	20	「自主学習Day」を設けて、自主学習を促す。			新規	

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
	12/14	14/18	18/20
A:90%以上達成している(18~20)			A
B:半数以上が達成している(10~17)	B	B	
C:達成したのは半数未満である(0~9)			

## 重点取組分野2 豊かな心(徳)

### (1)多面的多角的な見方、考え方を育てるとともに、自己肯定感を高める。

			R3年度	R4年度	R5年度	
児童	1	道徳の授業では、学級やグループで話し合うことを通して、考えを上げたり深めたりしようとしていますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	89.0	83.8
			全国	0.0	80.0	83.6
	2	自分にはよいところがあると思いますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	77	78.0	80.7
			全国	0.0	79.3	83.5
	3	様々な立場や考え方の人がいることを理解して、バカにしたり差別したりせず認め合いながら生活していますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	92.0	92.0	86.7
			全国	85.0	85.0	87.4
4	[1～3年]ペア学年やふれあい班の友達と仲良く活動することができましたか。 [4～6年]ペア学年活動やふれあい班活動を通して、下学年の児童が安心して楽しく活動できるように考えて行動することができましたか。 「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0.0	0.0	92.4	
		全国	0.0	0.0	0.0	
5	人が困っているときは、進んで助けていますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0.0	94.0	92.0	
		全国	0.0	88.9	91.6	
職員	6 「道徳の授業」では、学級やグループで話し合うことを通して、考えを上げたり深めたりできるように指導した。				A	
	7 「社会的スキル横浜プログラム」を活用して自己肯定感、他者受容を高めるよう指導した。				B	
※※※	8 お子さんは多様性を認め、自分や他者のことを大切にしようとしていると思いますか。 【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】				97.2	
学校	9 社会的スキル横浜プログラムを実施する。			実施	実施	実施

### (2)他者とのかわりの中で他者受容の心を育てる。

			R3年度	R4年度	R5年度	
児童	10	様々な立場や考え方の人がいることを理解して、バカにしたり差別したりせず認め合いながら生活していますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	92.0	86.7	
			全国	85.0	87.4	
	11	[1～3年]ペア学年やふれあい班の友達と仲良く活動することができましたか。 [4～6年]ペア学年活動やふれあい班活動を通して、下学年の児童が安心して楽しく活動できるように考えて行動することができましたか。 「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0.0	0.0	92.4
			全国	0.0	0.0	0.0
職員	12 確かな人権感覚・意識を高めるために「人権を意識して指導」した。				A	
	13 互いのよさを認め合い、助け合おうとする仲間意識を育むことを意識「異学年活動」を指導した。				A	
地域	14 日ごろから、子どもたちは他者を思いやる様子が見られる。				A	
	15 日ごろから、子どもたちの挨拶をしている姿が見られる。				A	
学校	16 ふれあい活動、あいさつ運動を実施する。			継続	継続	継続
	17 6年生にコーチングの授業を実施する。			新規	継続	継続

### (3)異学年交流や豊かな心育成のための体験活動などを通して様々な立場を理解するとともに、自己有用感を高められるよう取り組む。

			R3年度	R4年度	R5年度	
児童	18	人が困っているときは、進んで助けていますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0.0	94.0	92.0
			全国	0.0	88.9	91.6
地域	19 今宿小学校では、お互いを認め合える楽しい学級づくり、学校づくりに努めていることが分かる。				A	
学校	20 児童に人権集会や人権週間などで人権について考える活動をする。			実施	実施	実施
	21 職員人権研修を実施する。【1回以上】			実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
A:90%以上達成している(19～21)	9/14	12/16	19/21
B:半数以上が達成している(11～18)	B	B	
C:達成したのは半数未満である(0～10)			

### 重点取組分野3 健やかな体(体)

#### (1) 自ら運動に親しむ態度を育て、運動時間の増加に取り組む。

			R3年度	R4年度	R5年度		
児童	1	4月に比べて、休み時間に運動することが増えましたか。 「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	「1週間に3回以上」の割合の合計【50%=市の目標値】	56.0	79.6	
			横浜市		38.8	0.0	
職員	2	児童の実態を把握し、体育の授業改善・休み時間・体育行事・一校一実践を通して、「自ら運動に親しむ態度育成」に努めた。			A		
学校	3	自分の体力を把握できるように体力テストを実施する。			実施	実施	実施
	4	2年生「マリノスサッカーキャラバン」を実施する。			実施	実施	実施

#### (2) 自ら健康に過ごそうとする態度を育て、よい生活習慣の定着に取り組む。

			R3年度	R4年度	R5年度		
児童	5	保健(3.4.5.6年)や放射線(1.4年)・スマートフォンなどの授業や給食の指導(2年生はマリノスキャラバン)、保健委員会の睡眠についてなどを通して、自分の生活を少しでもよくしようとしましたか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0.0	0.0	85.6	
			0	0.0	0.0	0.0	
	6	スマートフォンやタブレット、ゲーム機器などの使い方について、ルールを守って使っていますか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	75.6	80.9	93.0	
			全国	70.1		0.0	
	7	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	82.2	84.3	78.6	
			全国	81.2		81.0	
	8	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	96.6	93.2	84.2	
			全国	90.4		90.5	
	9	1日当たりどれくらいの時間、PCやタブレット、ゲーム機などで動画を見たりゲームをしたりしていますか。 【120分以上が前年度より減】	今宿小	45～60分	60～120分	120分より多い	
			令和5年度	21.3	25.9	32.4	
令和4年度					48.5		
令和3年度					21.1		
職員	10	児童が「生活習慣を見直せるように、授業改善や栄養職員・専門家との連携」に努めた。			B		
保護者	11	お子さんは生活習慣(早寝早起き、食事、ゲーム・SNSの動画の視聴など)を整えるよう取り組んでいますか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】				75.9	
	12	家庭ではゲームやスマートフォンの使い方等のルールを決め、守らせるようにしていますか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】				91.5	
学校	13	学校保健委員会に取り組む。			実施	実施	実施
	14	「保健だより」を発行し学校の保健状況を知らせるとともに啓発を図る。			実施	実施	実施
	15	1年生「放射線教育」を実施し、正しく理解するよう指導する。			実施	実施	実施
	16	5、6年生「薬物乱用防止教室」を実施し、薬物の正しい理解を図り、自分の体を守る意識を高める。			実施	実施	実施

#### (3) 食べることに興味をもち、自分から健康に良い食事をしようとする態度を育てる。

			R3年度	R4年度	R5年度		
児童	17	朝食を毎日食べていますか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	94.5	93.3	93.9	
			全国	94.9	94.4	93.9	
	18	朝食を毎日食べていますか。「していない」の割合【3%未満=市の目標値】	今宿小	1.1	1.6	2.0	
			全国	1.2	1.4	1.5	
学校	19	栄養職員による食の巡回指導を実施する。			実施	実施	実施
	20	「給食だより」を発行し給食について知らせるとともに食育啓発を図る。			実施	実施	実施
	21	「給食速報」を作成・掲示し、食への関心を高める。					新規
	22	「給食週間」を実施し、食に関わる方々に感謝するとともに、残食を減らす。			実施	実施	実施
	23	食育の授業を実施する。			実施	実施	実施
	24	PTA「給食試食会」を実施し、教職への理解を深め、食育啓発を図る。				実施	実施

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
A:90%以上達成している(22～24)	11/14	11/14	20/24
B:半数以上が達成している(12～21)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0～11)			

## 重点取組分野4 キャリア教育(公)

(1)できることを考えて挑戦し、自分で決めたことをやり遂げる力を育てる。

		R3年度	R4年度	R5年度		
児童	1	今宿小	自分でやると決めたことはやり遂げるようになっていますか。	92.0	87.0	
		全国		87.2	72.5	
児童	2	今宿小	クラスや学校をより良くするために、進んで活動したり、何をすべきか考えたりすることがありましたか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	0.0	0.0	92.0
		全国		0.0	0.0	87.2
職員	3	児童ができるようになったことを認識できるように「自分づくりパスポートを活用」した。			B	
	4	児童が「自主的に」取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団の「課題を解決するよう」、実行委員やクラブ、委員会の指導をした。			A	
学校	5	自分づくりパスポートを作成し、活用する。		新規	実施	

(2)地域貢献しようとする気持ちを育てる。

		R3年度	R4年度	R5年度		
児童	6	今宿小	今住んでいる地域の行事に参加していますか。(おまつり、レク、キャンプ、ジュニアボランティアなど)「している」「だいたいしている」の割合の合計【70%以上】	0	52	74.8
		全国		0	52.7	57.8
児童	7	今宿小	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【55%以上=市の目標値】	74	72	85.5
		全国		0	51.3	76.8
職員	8	保護者や地域の人との「協働」による取組は、学校の教育水準の向上に効果があったと思う。			A	
学校	9	区が実施しているジュニアボランティアに参加するよう児童に呼びかける。		(実施)	(実施)	実施
	10	地域のお祭りがあるときには児童に紹介するとともに、管理職がお祭りに伺い児童の活躍を見守る。		(実施)	(実施)	実施

目標を達成している項目数		R3年度	R4年度	R5年度
		7/8	12/14	9/10
A:90%以上達成している(9~10)				A
B:半数以上が達成している(5~8)		B	B	
C:達成したのは半数未満である(0~4)				

## 重点取組分野5 国際教育・ESD(開)

### (1)外国語に親しみ積極的にかかわろうとする態度を育てる。

			R3年度	R4年度	R5年度
児童	1	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたしてみたいと思いますか。「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【80%=市の目標値】	今宿小	73.0	78.9
			全国	80.2	72.5
職員	2	「楽しい外国語活動・外国語科」になるように努めた。			
	3	「多様性を認める」ことを意識して授業した。			
学校	4	学年に応じて日本や外国の文化に触れ、国際協力や国際社会について考え多様性を認める素地を養う。	国際理解教室 YICAを 実施	国際理解教室 YICAを 実施	国際理解教室 YICAを 実施

### (2)世界に目を向ける態度を育てるとともに、ICT機器を活用する力を育てる。

			R3年度	R4年度	R5年度	
児童	5	[3～6年]総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	85.0	88.0	81.1
			全国	82.6	77.3	74.8
	6	学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思いますか。「そう思う」「だいたいそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0.0	97.0	93.4
			全国	0.0	94.4	95.1
職員	7	「課題に気付き解決しようとする」力を育成するように授業をした。	A			
	8	プログラミングに関わる授業を実施した。	B			
	9	情報モラルに関わる授業を実施した。(道徳、LINE社講習を含む)	A			
学校	10	外部講師を招いて人権や福祉など様々な授業を実施する。	(実施)	実施	実施	
	11	SDGsを学習して考えたことを文章に表し、「国際平和スピーチコンテスト」に参加して旭区小学校に発表する。	/	新規	実施	
	12	実行委員や係を決めるときに、プロジェクト型の経験を積めるような進め方をする。	/	新規	実施	
	13	SDGs関連の書籍を図書室に用意する。	/	実施	実施	
	14	3年生において外部機関と連携したプログラミング学習(アプリ)を実施する。	/	実施	実施	
	15	4年生において外部機関と連携したプログラミング学習(ドローン)を実施する。	/	/	新規	
	16	4, 5, 6年「情報モラル教育」を外部と連携して実施する。	/	/	新規	

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
	12/17	15/17	13/16
A:90%以上達成している(15～16)			
B:半数以上が達成している(8～14)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0～7)			

## 重点取組分野6 児童理解・指導

(1)「今宿スタンダード」をもとに、朝会等も活用して統一した指導をし、問題行動の防止に努める。

		R3年度	R4年度	R5年度	
児童	1	スタンダードにそって、ルールを守って生活していますか。 「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小 0.0	0.0	97.3
		0	0.0	0.0	
職員	2	児童が安心・安全に過ごせるように「スタンダード」を指導した。			A
保護者	3	お子さんは、ご家庭で決めたルールを守って生活をしていますか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】			86.5
	4	ご家庭で「今宿スタンダード」を確認する時間を取りましたか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】			55.3
地域	5	日々の行動から、子どもたちは学校や社会の決まりを守って行動している様子が見られる。			A
学校	6	「今宿スタンダード」の共通理解を図る。【年度初めに実施】			実施 実施 実施
	7	朝会や学年集会、学級などで、学校の決まりについて指導する。			実施 実施 実施

(2)診断やYPアセスメント等を活用し、児童の実態に応じた指導を行う。

		R3年度	R4年度	R5年度	
学校	8	教育相談の結果を踏まえた指導をする。			実施 実施 実施
学校	9	YPアセスメントを実施する。【年2回＝市の方針】			実施 実施 実施

(3)機関や家庭と連携を図り、児童を中心に据えた指導や特別支援教育を行う。

		R3年度	R4年度	R5年度	
職員	10	家庭や関係機関と連携して、児童のよいところや困り感を共有し、児童が学校生活を安心して過ごせるように努めた。			A
保護者	11	学校は、家庭と連携してお子さんの健全育成に努めていると思えますか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】			94.3
	12	ご家庭では、お子さんのよいところを認めるような言葉をかけるようにしていますか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】			90.8
学校	13	療育センターや特別支援学校のセンター的機能を活用したコンサルテーションを実施する。【年3回以上】			実施 実施 実施
	14	対象児童の個別の指導計画を作成する。【作成100%】			作成 作成 作成
	15	支援を必要とする児童への取り出し授業を実施する。			実施 実施 実施
	16	特別支援教育を実施する。【支援教室実施、支援制度の活用】			実施 実施 実施
	17	特別支援教育職員研修を実施する。			実施 実施 実施
	18	教育委員会と連携して課題解決に取り組む。(SSWや課題解決チームの派遣要請)			実施 実施 実施
	19	家庭と連携を図り、個別の支援計画の作成・活用を通して、不登校児童への具体的な対応に努める。 【年間欠席日数30日以上的人数が前年度より減】			23 5減 17 6減 23 6増

ⒺR4.1月 末まで ⒺR5.1月 末まで ⒺR6.1月 末まで

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
	16/16	13/14	17/19
A:90%以上達成している(18～19)	A	A	
B:半数以上が達成している(10～17)			B
C:達成したのは半数未満である(0～9)			

## 重点取組分野7 いじめへの対応

### (1) 定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。

			R3年度	R4年度	R5年度		
児童	1	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	98.0	97.0	97.3	
			全国	96.8	96.8	96.9	
職員	2	日ごろから児童理解に努めるとともに、定期的なアンケートや児童・保護者面談を行い、「いじめを未然に防止しよう」とした。			A		
地域	3	お子さんは安心・安全に学校生活を送れていると思いますか。【そう思う、だいたいそう思うが80%以上】			97.1		
地域	4	子どもたちは楽しく学校生活を送っている様子がうかがえる。			A		
学校	5	児童へのいじめアンケートを実施する。【年2回以上】			実施	実施	実施
	6	保護者面談等で児童の状況を把握する。【年2回以上】			実施	実施	実施

### (2) いじめ防止対策委員会を定期的に開きいじめに組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。

			R3年度	R4年度	R5年度		
児童	7	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0.0	0.0	80.0	
			全国	0.0	0.0	68.5	
職員	8	学年や専任、担当部署や管理職と相談して、「組織的に」児童や保護者に対応した。			A		
学校	9	いじめ防止対策委員会を定期的に開く。【年12回以上】			実施	実施	実施
	10	職員いじめ防止研修の実施【年1回以上】			実施	実施	実施
	11	職員傾聴研修の実施【年1回以上】			実施	実施	実施

### (3) 児童支援専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期解決に努める。

			R3年度	R4年度	R5年度		
学校	12	いじめを積極的に認知し、教育委員会に報告するとともに、組織的・継続的に指導に当たる。【認知件数100%報告】	100%報告	100%報告	100%報告		
	13	いじめ防止対策委員会を週1回行う。			実施	実施	実施
	14	「横浜こども会議」に参加し、「誰にとっても居心地のよい学校づくり」を全校で考え、できることを考えて実践する。			実施	実施	実施

目標を達成している項目数			R3年度	R4年度	R5年度
			11/11	11/11	13/14
A:90%以上達成している(13~14)			A	A	A
B:半数以上が達成している(7~12)					
C:達成したのは半数未満である(0~6)					



## 重点取組分野8 信頼される学校づくり

### (1)安全・快適な環境づくり、防犯意識・安全意識のための訓練や研修、点検の実施

		R3年度	R4年度	R5年度
職員	1	自身の担当する教室や廊下、特別教室、保健室、給食室、事務室などの「安全点検」を月1回行い、安全な環境づくりに努めた。		
	2	「避難訓練や防災教室」では、自分の役割を自覚し、児童・職員の安全の為に行動した。		
学校	3	実施	実施	実施
	4	実施	実施	実施
	5	実施	実施	実施
	6	実施	実施	実施
	7	実施	実施	実施
	個別支援学級の教室環境を整備する。(視聴覚室工事)		新規	

### (2)学校広報、学校評価の充実

		R3年度	R4年度	R5年度
職員	8	学校だよりやHP、懇談会などを活用して、学校や学年、担当部署の取組を地域や保護者に「発信した」。		
	9	幼稚園、学年間、中学校などと「連携」を図りながら、児童理解や系統を生かした指導、健康管理、食育・衛生管理、経理・事務処理に努めた。		
	10	「学校だより」や「ホームページ」、その他の学校からのお便りを読んでいますか。		
地域	11	今宿小学校では、学校便りを活用して、地域への情報発信を適切に行っている。		
	12	今宿小学校では、学校説明会や学校便りで、教育方針や教育目標についてわかりやすく説明している。		
学校	13	継続	継続	継続
	14	実施	実施	実施
	15	活用	活用	活用
	16	20045 2022/2/10	10635 2023/1/20	7949 2024/1/31
	17		実施	実施

### (3)コンプライアンスの徹底

		R3年度	R4年度	R5年度
学校	18	実施	実施	実施
	19	実施	実施	実施

### (4)幼保小連携、小中連携

		R3年度	R4年度	R5年度
学校	20	参加	参加	参加
	21	実施	実施	実施
	22	実施	実施	実施
	23	実施	実施	実施
	24	実施	実施	実施
	25	実施	実施	実施
	26	実施	実施	実施
	27	実施	実施	実施
	28	実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
	18/19	22/23	25/28
A:90%以上達成している(26~28)	A	A	
B:半数以上が達成している(14~25)			B
C:達成したのは半数未満である(0~13)			

## 重点取組分野9 人材育成・組織運営(働き方改革)

### (1)キャリアステージに応じた目標設定

		R3年度	R4年度	R5年度	
職員	1	自身の「キャリアステージに応じた目標設定」し、達成のために、「具体的に取り組んだ」。(研修等も含む)			A
	2	初任者研修やメンター研、コーチング研修や不審者侵入対応研修、今でしよう会議など校内の研修を通して、自身に生かすことができた。			A
学校	3	実施	実施	実施	

### (2)校務のICT化、マニュアル化、情報共有化の促進 ⇒働き方改革の推進

		R3年度	R4年度	R5年度	
職員	4	児童の情報交換や教材研究、健康管理、食育・衛生管理、経理・事務処理など、学年内や担当する職員間で「情報共有」したり「検討」したりできた。			A
学校	5	実施	実施	実施	
	6	実施	実施	実施	
	7	実施	実施	実施	
	8	実施	実施	実施	
	9	実施	実施	実施	
	10	実施	実施	実施	
	11	実施	実施	実施	

### (3)運営委員会、校内教科領域推進係の効果的・効率的な運営、校務の充実とスリム化

		R3年度	R4年度	R5年度	
職員	12	自身の部署で、計画的に「物品の購入や処分」、「整理や整備」を行った。			A
	13	効果的で効率の良い運営となるように考え、行動した。(改善シート、ミライム、資料の準備・周知、事前読み、連携等)			A
	14	時間外に働くことが昨年度より減った。			D
学校	15	実施	実施	実施	
	16	実施	実施	実施	
	17	実施	実施	実施	
	18	実施	実施	実施	
	19	実施	実施	実施	
	20	実施	実施	実施	
	21	新規	実施	実施	
	22	新規	実施	実施	
	23	新規	実施	実施	

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
	18/20	21/25	22/23
A:90%以上達成している(22~23)	A		A
B:半数以上が達成している(12~21)		B	
C:達成したのは半数未満である(0~11)			

## 重点取組分野10 地域連携・学校運営協議会

### (1)まちを大切に作る心育成

		R3年度	R4年度	R5年度
職員	1	保護者や地域の人との「協働」による取組は、学校の教育水準の向上に効果があったと思う。		
地域	2	地域や保護者の皆様のご協力のもと、放課後自習室やおはやしクラブを行っています。よい取組だと思いますか。		
学校	3	新規	継続	継続
	4	新規	継続	継続
	5		新規	継続

### (2)児童の安心・安全や環境づくりのためPTA、保護者、地域との連携

		R3年度	R4年度	R5年度	
学校	6	継続	継続	継続	
	7	継続	継続	継続	
	8		再開	継続	
	9	実施	継続	継続	
	10		再開	継続	
	11		再開	継続	
	12	実施	継続	継続	
	13	継続	継続	継続	
		地域の青少年指導員、児童指導委員を児童活動にお招きする。	継続		
	14		新規	実施	

目標を達成している項目数	R3年度	R4年度	R5年度
	18/19	12/12	14/14
A:90%以上達成している(13~14)	A	A	A
B:半数以上が達成している(7~12)			
C:達成したのは半数未満である(0~6)			